

業務部速報

発信者》JREU
仙台地本業務部 / 湯ノ目
〒983-0852
仙台市宮城野区榴岡1-4-3
TEL 022-297-0155
FAX 022-291-3070
JR 031-3981~3
FAX 031-3980
2021年 9月 15日

「駅体制の見直しについて」(くりこま高原駅)に関する申し入れ

2021年9月15日に申4号団体交渉を行いました。不明な点等、地本業務部に連絡を下さい。

団体交渉

(1項)今体制の見直しを行う目的、メリットを明らかにすること。

(回答)当社を取り巻く環境の変化やお客さまのご利用状況等を総合的に勘案し、より効率的な業務執行体制を構築していく考えである。

【主な議論】・数年前の新幹線北海道延伸に伴い、当時のダイヤを変えない円滑に体制強化を行い進めていた。管理業務が新JINJREの導入や現業事務センターにより、管理者を介していたところが減ることもあり、このタイミングとした。

(2項)今体制の見直しにより、窓口営業時間変更の有無や業務内容、異常時の列車扱時の変更点と呼び出し方法、セキュリティ体制、休養箇所等について明らかにすること。

(回答)必要な業務執行体制は確保していく考えである。

【主な議論】・窓口営業時間(6:30~21:45)は変更なし。業務の持ち替えはあるが、全体としては無い。

- ・列車扱いに関しては、間合い5分で出来る認識。その為、列車遅延時の対応は現行通り。(列車遅延はやむを得ず。)
- ・呼び出しは駅長が行う。ほかの駅同様に非常通報装置は設置してある。地区センター対応や古川駅対応もあり得る。
- ・女性2名泊の際は現行代泊となる。・出改札の昼休憩60分は現行のままではできない。(検証課題)
- ・列車扱いBに関しては、68Bで規制できるダイヤとなる予定。

(3項)設備等の改修があれば、明らかにすること。また、窓口のセキュリティ強化・施錠対策などの為ガラス張りとし、事務所内にトイレを設置すること。

(回答)現行の設備で対応することとなる。

【主な議論】・事務所内にトイレの設置はスペース的に厳しい。生理現象に関しては、必要な対策を取れば問題ない。

(13時頃から16時頃の約190分の連続窓口業務の対応について等)(列車扱い担当者に無線で連絡も可能)

(4項)体制見直し実施後、玄関開放・戸締等の取扱い方法と確認方法を明らかにすること。また、具体的に変更等となる業務内容と関係した教育方法を明らかにすること。尚、関連し将来構想があれば、明らかにすること。

(回答)必要な教育は実施しているところである。

【主な議論】・玄関解放・戸締は確認しながら2名体制で行う。

- ・券売機締め切り、出札業務に関して未経験者はいないが、再教育などは現時点行っている。(岩切の営業センターでの教育も行っている。)
- ・列車扱い担当者が同ダイヤで出札業務も行うのは、仙台支社で初のケースとなる。(検証課題)
(…只見線駅では輸送業務と営業業務を行っているといえるが。)
- ・高齢のお客さまも券売機でご購入されているところもあり、券売機使用率は増加している。(窓口では数日後の切符)
(窓口売り上げはコロナ禍の現行で平均約100万円)
- ・異常時対応時などように切符を買えない場合を想定し、手作成で乗車証明書は準備する。

(5項)施策実施に伴い、問題・課題がある場合は、必要な見直し等を行うこと。

(回答)具体的な提起があれば、「労使間の取扱いに関する協約(平成30年10月1日締結)」に則り、取り扱うこととなる。